厚木市本庁舎敷地跡地等活用基本方針の策定に関する

意見交換会について（10月23日（水））

意見交換会の名称	厚木市本庁舎敷地跡地等活用基本方針の策定に関する意見交換会	
開催日時	令和6年10月23日(水)午後7時から8時まで	
開催場所	厚木市役所本庁舎4階 大会議室	
参加者数	4人	
担当課	行政経営課	
結果公開日	令和6年11月11日(月)	
会議の経過	1 開会 2 次長挨拶 3 資料の説明 4 意見交換 5 閉会	
	質問・意見の概要	市の考え方
1	本厚木駅周辺の中心市街地の状況について説明があったが、交通量に関する説明が分かりづらかったため、再度、御説明いただきたい。	本厚木駅周辺の中心市街地における歩行者及び自転車の交通量について、お示しさせていただきました。本厚木駅東口付近及び各地点の交通量を比較したところ、駅からやや離れた中町交差点付近や現在の市役所付近では、交通量が大きく減少しています。このことから、通勤や通学を目的に駅周辺を訪れる人々の流れが、本厚木駅周辺のみにとどまっていること課題としてお示ししています。

2	<p>本庁舎敷地を売却とした場合の時価総額について、御説明いただきたい。</p>	<p>本庁舎敷地については、中心市街地の数少ない一団の市有地であることから、本市のまちづくりの課題解決に寄与する活用方法を検討しています。本庁舎敷地の売却については想定していないことから、売却時の単価等については、把握していません。</p>
3	<p>これまで本庁舎敷地の跡地に関する方向性は未定と聞いていたが、今回の説明では、土地の売却は行わないとの方向性が示されている。土地の売却を行わないと結論付けた経緯について御説明いただきたい。</p>	<p>本庁舎敷地については、複合施設等整備基本計画の中で、中心市街地の数少ない一団の市有地であることから、本市のまちづくりの課題解決に寄与する活用方法を検討するという位置付けがあります。このような関連計画上の位置付けや、令和5年度に行った審議会での検討、またサウンディング調査などの結果を踏まえ、本市が土地を所有しつつ周辺施設との一体的な活用を図るという方向性を整理しました。</p>
4	<p>公共施設最適化基本計画では、今後の公共建築物の更新や維持管理に必要な費用に対する不足財源の解消が課題となっているが、本庁舎敷地へ新たな公共機能の導入を検討するということは、財政負担が増加する一方ではないか。</p>	<p>本市では、公共施設最適化基本計画に基づき公共施設の最適化に向けた取組を推進しており、計画期間である40年間で見込まれる不足財源の解消に向け、公共施設の複合化や集約化などの取組を推進しています。不足財源の解消に向けては、今回の本庁舎敷地の跡地活用のみでなく、既存施設の複合化や集約化、国庫補助金の活用や民間資金の活用など、計画期間である40年間で実施する多様な取り組みにより財政負担を抑制します。また、本庁舎敷地の跡地活用に関しては、施設の建設費のほか、維持管理費用の抑制にも着目するとともに、本庁舎敷地の跡地活用が本市にもたらす社会的効果を十分に踏まえた上で方向性を決定します。</p>

5	コンパクト・プラス・ネットワークの考えでは、様々な都市機能を確保する方向性である一方、交通渋滞等を避けるために駐車場整備などの話になる傾向にある。コスト面においても、回遊性の向上という面においても、中心市街地における車両の総量を抑制するなどの方向性で検討する必要があるのではないか。	いただいた御意見については、今後の検討の参考にさせていただきます。
6	資料中、ホールとアリーナの記載の順序が逆転する箇所があるが、意味はあるのか。	記載の順序に関して特段意味はありません。今後作成する資料においては、記載の順序を統一させていただきます。
7	多目的なホールやアリーナの導入を検討するとのことであるが、e スポーツを実施するとしたらどちらになるのか。	他自治体の取り組みでは、アリーナにおけるe スポーツイベントの開催実績を確認しています。